

学生主体の町活性化 地域と学生むすぶ拠点づくり

京都産業大の学生らが京都府井手町の空き家を改修し、地域交流拠点「むすび家ide（むすびやいで）」を3月に整備した。同大経済学部大西辰彦ゼミを中心とする「京都産業大学井手応援隊」の取り組みの一環。むすび家ideを拠点とし、地域住民との交流、また地域活性化を図る。

井手町役場が町内の空き家を借り上げ、応援隊に提供。ワークショップで改修方法を検討し、室内の掃除や庭の整備、床の張り替えなどを行った。昨年10月から改修が始まり、3月に終了。和室5間。町内の小学生を受け入れ、学習支援をする「寺子屋」や地域住民が集まり会話をを楽しむ場としての活用を予定している。

大学名の「産業」を「むすびわざ」と読み、何かと



▶学生手作りの「むすび家ide」の看板（提供写真）

何かをむすんでうみだすという同大の理念にちなんで応援隊の学生らが「むすび家ide」と命名。地域や学生などさまざまなものをむすび、新たな価値を井手町にうみだすという願いが込められている。

同大と井手町は2013年に連携協力包括協定を締結。人口減少に悩む井手町を活性化し、町の人口増加を狙うため応援隊が結成された。今までの活動は、町の中心部を流れる玉川を灯籠でライトアップする「井手！みねーしょん」の企画や、町のイベント「さくらまつり」への参加など。今後はむすび家ideでの催しを中心に活動していく。「都会では味わえない豊かな自然が井手町の魅力」と話すのはゼミ長の橋本泰成さん（3年）。活動拠点ができたことを機に活動の幅を広げ、地域と若年層の懸け橋となり町の活性化を目指すといい。

（聞き手＝下島奈菜恵）



▲「むすび家ide」で子供と交流する学生ら（提供写真）

配信・発行

UNN関西学生報道連盟

共同編集室 〒532-0011 大阪市淀川区西中島4-2-24 ダイニホンビル4階
 電話 06 (6307) 1315 FAX 06 (6829) 6353
 メール info@unn-news.com ウェブサイト http://www.unn-news.com/

週刊FOCUSは毎週月曜日発行です

UNN関西学生報道連盟は

京都大学CLOCK編集部
 大阪大学POST通信社
 神戸大学ニュースネット委員会
 関西大学タイムス編集部
 関学新月通信社

同志社大学PRESS編集部
 NEWS立命通信社
 京都女子大学藤花通信編集部
 神戸女学院大学K.C.Press編集部

の9団体でつくる学生報道団体です